

町民会館ホール建設場所に係る比較（２）

資料 1 - 2

項 目	整備案 1（現地で建設）	整備案 2（南側来庁者用駐車場で建設）
①整備事業費	約 10 億 6 千万円	約 11 億 8 千万円
②維持管理費	公民館と電気設備等の一体的な利用が可能。 維持管理費や職員人件費を抑制できる。	電気設備等を新たに整備する必要がある。 維持管理費や職員人件費が増加する。
③公民館・ホールの利活用	公民館・ホールの一体的な利活用が可能。	公民館・ホールの利活用が分断される。
④ホール設計の自由度 （基本構想の実現可能性）	限られた敷地面積の中で設計を行う必要がある。	敷地面積が広いので、より自由な設計が可能。
⑤車での来館者の安全性・利便性	道路の横断が危険である。 （ただし、道路標示等の対策で危険を緩和する対策は可能）	北側・南側の両方に駐車場を整備できることで、ふれあいセンター、役場への来館者の安全性・利便性も高まり、危険性を一部緩和できる。